

平成 24 年度  
決算報告書

平成 24 年 4 月 1 日から

平成 25 年 3 月 31 日まで

公益財団法人 東京エムオウユウ事務局

貸 借 対 照 表

平成25年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現 金 預 金	11,088,060		
流動資産合計	11,088,060		
2. 固定資産			
(1)基本財産			
投 資 有 価 証 券	50,000,000		
基本財産合計	50,000,000		
(2)特定資産			
退 職 給 付 引 当 資 産	34,144,200		
減 価 償 却 引 当 資 産	12,814,456		
M O U 引 当 資 産	55,335,000		
研 修 事 業 基 金	2,152,626,080		
特定資産合計	2,254,919,736		
(3)その他固定資産			
什 器 備 品	7,759,082		
減 価 償 却 累 計 額	△ 7,087,144		
差引	671,938		
電 話 加 入 権	446,920		
ソ フ ト ウ エ ア	6,221,250		
ソ フ ト ウ エ ア 償 却 累 計 額	△ 5,727,312		
差引	493,938		
敷 金	5,620,788		
その他固定資産合計	7,233,584		
固定資産合計	2,312,153,320		
資産合計	2,323,241,380		
II 負債の部			
1. 流動負債			
未 払 金	7,225,946		
預 り 金	1,127,780		
賞 与 引 当 金	1,315,098		
流動負債合計	9,668,824		
2. 固定負債			
役 員 退 職 慰 労 引 当 金	16,844,900		
職 員 退 職 給 付 引 当 金	17,299,300		
固定負債合計	34,144,200		
負債合計	43,813,024		
III 正味財産の部			
1.指定正味財産			
日 本 財 団 助 成 金	2,132,372,380		
指定正味財産合計	2,132,372,380		
(うち基本財産への充当額)	(50,000,000)		
(うち特定資産への充当額)	(2,082,872,380)		
2. 一般正味財産	147,055,976		
(うち特定資産への充当額)	(138,403,156)		
正味財産合計	2,279,428,356		
負債及び正味財産合計	2,323,241,380		

**正 味 財 産 増 減 計 算 書**  
 平成24年4月1日平成25年3月31日まで  
 (単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	800,000		
研修事業基金運用益	40,491,722		
受取各国外出金	40,858,938		
受取助成金	28,185,000		
雑収	140,574		
経常収益計	110,476,234		
(2) 経常費用			
① 事業費	110,763,672		
MOU事務局関係費	16,314,517		
役員事務費	157,500		
国際会議旅費	4,588,747		
年報等製本費	2,152,258		
図報システム支援費	751,624		
情報システム支援費	6,633,788		
国際版HP改良費	2,030,600		
研修関係費	37,303,864		
一般研修費	11,648,299		
専門研修費	2,863,512		
セミナー費	3,856,563		
専門家派遣費	1,121,972		
検査官交流費	3,859,310		
隣接MOU支援費	8,982,248		
研修生等ターヘルス費	4,971,960		
研修記念品費	0		
運営費	57,145,291		
役員報酬	12,541,488		
給与手当	23,258,704		
役員退職慰労費用	2,187,920		
職員退職給付費用	1,203,600		
福利厚生費	3,389,650		
旅費	38,148		
通信費	1,120,878		
印刷費	579,169		
消耗品費	211,923		
会議費	158,549		
賞借料	8,204,518		
光熱水料費	499,707		
減価償却費	1,576,036		
雑費	859,903		
賞与引当金繰入額	1,315,098		
② 管理費	13,346,808		
役員報酬	3,446,481		
給与手当	3,150,734		
役員退職慰労費用	546,980		
職員退職給付費用	0		
福利厚生費	744,069		
旅費	166,220		
通信費	246,047		
印刷費	127,135		
消耗品費	46,520		
交際費	75,750		
会議費	118,990		
賞借料	1,800,992		
光熱水料費	109,692		
減価償却費	85,738		
雑費	188,760		
情報基盤整備費	140,700		
役員事務費	2,142,000		
修繕費	210,000		
賞与引当金繰入額	0		
経常費用計	124,110,480		
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 13,634,246		
特定資産評価損益等	2,753,700		
評価損益等計	2,753,700		
当期経常増減額	△ 10,880,546		
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0		
(2) 経常外費用			
固定資産除去損	3		
経常外費用計	3		
当期経常外増減額	△ 3		
当期一般正味財産増減額	△ 10,880,549		
一般正味財産期首残高	157,936,525		
一般正味財産期末残高	147,055,976		
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	800,000		
研修事業基金運用益	45,469,827		
受取有価証券利息	39,909,827		
有価証券売却益	5,560,000		
研修事業基金評価損益	110,378,600		
一般正味財産への振替額	△ 40,709,827		
当期指定正味財産増減額	115,938,600		
指定正味財産期首残高	2,016,433,780		
指定正味財産期末残高	2,132,372,380		
III 正味財産期末残高	2,279,428,356		

## 財務諸表に対する注記

この計算書類は、公益法人会計基準（内閣府公益等認定委員会、平成20年4月11日制定、平成21年10月16日改正）に基づき作成している。

### 1. 継続事業の前提に関する注記

該当事項なし

### 2. 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価方法及び評価基準

①満期保有目的の債券：移動平均法による原価法を採用している。但し、債券金額と異なる価額で取得した債券で、当該差額が金利の調整と認められるものは、償却原価法によっている。

②その他の有価証券：期末日の市場価格等に基づく時価法（売却原価は移動平均法により算定）によっている。

#### (2) 固定資産の減価償却

減価償却は、定率法で実施している。

#### (3) 引当金の計上基準

①役員退職慰労引当金：役員退職慰労金の支給に充てるため、内規に基づく期末要支給額を計上している。

②退職給付引当金：職員の退職給付に備えるため、期末自己都合要支給額の100%を計上している。

③賞与引当金：賞与支給に備えるため、支給対象期間に対応する支給見込み額を計上している。

#### (4) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係わる方法に準じた会計処理によっている。

#### (5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込み方式によっている。

### 3. 会計方針の変更

公益財団法人への移行（平成24年4月1日）にともない、公益法人会計基準（内閣府公益等認定委員会、平成20年4月11日制定、平成21年10月16日改正）を採用した。

### 4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残額は、次のとおりである。（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	50,000,000	0	0	50,000,000
小 計	50,000,000	0	0	50,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	30,205,700	3,938,500	0	34,144,200
減価償却引当資産	11,896,709	1,661,774	(744,027)	12,814,456
MOU引当資産	55,035,000	300,000	0	55,335,000
研修事業基金	2,033,433,780	119,192,300	0	2,152,626,080
小 計	2,130,571,189	125,092,574	(744,027)	2,254,919,736
合 計	2,180,571,189	125,092,574	(744,027)	2,304,919,736

### 5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。（単位：円）

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充当)	(うち一般正味 財産からの充)	(うち負債に対 応する額)
基本財産				
投資有価証券	50,000,000	(50,000,000)	0	0
小 計	50,000,000	(50,000,000)	0	0
特定資産				
退職給付引当資産	34,144,200	0	0	(34,144,200)
減価償却引当資産	12,814,456	0	(12,814,456)	0
MOU引当資産	55,335,000	0	(55,335,000)	0
研修事業基金	2,152,626,080	(2,082,372,380)	(70,253,700)	0
小 計	2,254,919,736	(2,082,372,380)	(138,403,156)	(34,144,200)
合 計	2,304,919,736	(2,132,372,380)	(138,403,156)	(34,144,200)

6. 担保に供している資産  
該当無し。

7. 保証債務等の偶発債務  
該当無し。

8. 満期保有目的債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益  
満期保有目的債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	帳簿残高	時価	評価損益
兵庫県平成16年第3回公債	50,000,000	50,798,850	798,850

9. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表の計上区分
助成金						
基本財産	日本財団	50,000,000	0	0	50,000,000	指定正味財産
基盤整備	日本財団	0	21,000,000	21,000,000	0	一般正味財産
事業助成	日本財団	0	7,185,000	7,185,000	0	一般正味財産
研修事業基金	日本財団	1,966,433,780	115,938,600		2,082,372,380	指定正味財産
合計		2,016,433,780	144,123,600	28,185,000	2,132,372,380	

10. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	800,000
研修事業基金運用収益	39,909,827
経常外収益への振替額	0
合計	40,709,827

11. 関連当事者との取引内容  
該当無し。

12. 関連当事者との取引内容  
該当無し。

13. 退職給付に関する事項

(1) 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として、退職一時金制度を設けている。

(2) 退職給付債務及びその内訳

退職給付債務 17,299,300 円  
退職給付引当金 17,299,300 円

(3) 退職給付費用に関する事項

勤務費用 1,203,600 円  
退職給付費用 1,203,600 円

(4) 退職給付債務等の計算基礎に関する事項

期末自己都合要支給額を基礎として、計上している。

## 付 属 明 細 書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表の注記4に記載しているため作成を省略している。

### 2. 引当金の明細

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞 与 引 当 金	1,323,676	1,315,098	1,323,676	0	1,315,098
役 員 退 職 慰 労 引 当 金	14,110,000	2,734,900	0	0	16,844,900
職 員 退 職 給 付 引 当 金	16,095,700	1,203,600	0	0	17,299,300

**財 産 目 録**

平成25年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金 預金	手許保管 普通預金:みずほ銀行虎ノ門 支店他	運転資金として 運転資金として	154,442 10,933,618
<b>流動資産合計</b>				<b>11,088,060</b>
(固定資産)				
基本財産	投資有価証券	兵庫県平成16年第3回公債	(共用財産) うち公益目的保有財産82% うち管理活動(注1)用財産18%	50,000,000 41,000,000 9,000,000
特定資産	退職給付引当資産	普通預金:みずほ銀行虎ノ門 支店、投資有価証券	役員1名に対する退職金の支払いに備 えている引当預金	34,144,200
	減価償却引当資産	普通預金:みずほ銀行虎ノ門 支店、投資有価証券	什器備品及びソフトウェアの減価償却 見合の引当金	12,814,456
	MOU引当資産	普通預金:みずほ銀行虎ノ門 支店、投資有価証券	公益目的事業及び管理活動の安定的 運営に備える引当預金(遊休財産)	55,335,000
	研修事業基金	普通預金・定期預金:みずほ銀 行虎ノ門支店、投資有価証券: 九州電力第329回社債他	(共用財産) うち公益目的保有財産 うち管理活動用財産	2,152,626,080 1,451,789,161 700,836,919
その他固定 資産	什器備品	事務所付帯設備	(共用財産) うち公益目的保有財産82% うち管理活動用財産18%	671,938 550,989 120,949
	電話加入権	東京都港区新橋 アセンド新橋8階事務所	(共用財産) うち公益目的保有財産82% うち管理活動用財産18%	446,920 366,474 80,446
	ソフトウェア 敷金	研修履歴等データベース 事務所	公益目的保有財産 (共用財産) うち公益目的保有財産82% うち管理活動用財産18%	493,938 5,620,788 4,609,046 1,011,742
<b>固定資産合計</b>				<b>2,312,153,320</b>
<b>資産合計</b>				<b>2,323,241,380</b>
(流動負債)				
	未払金	日本財団 その他	助成事業に係る返納金 公益目的事業及び管理活動の小口費 用15件	7,225,946 2,895,000 4,330,946
	預り金	役職員	役職員に係る社会保険料、地方税等 の預り分	1,127,780
	賞与引当金	職員	公益目的事業及び管理活動業務に従 事する職員の賞与の引当金	1,315,098
<b>流動負債合計</b>				<b>9,668,824</b>
(固定負債)				
	役員退職慰労引当金	役員に対するもの	役員1名に対する退職慰労金の支払 いに備えたもの	16,844,900
	職員退職給付引当金	職員に対するもの	職員2名に対する退職金の支払いに 備えたもの	17,299,300
<b>固定負債合計</b>				<b>34,144,200</b>
<b>負債合計</b>				<b>43,813,024</b>
<b>正味財産</b>				<b>2,279,428,356</b>

(注1)管理活動とは、公益目的事業に必要な管理業務に係る活動をいう。

(注2)什器備品及びソフトウェアについては、購入価額から減価償却費累計額を差し引いた額を計上している。